



★1月部会は、鹿ヶ谷の木々も冬真最中の気候の中、休眠し春の成長に向け栄養を貯えている香りが漂いつつあるフィールドで、7日、今年初めての活動を8名が参加し行ないました。昨年、広島市より通知があった鹿ヶ谷作業場の砂防ダムが3月ぐらいより着手となり、作業場周りの整理が必要になり、まず、工具類の倉庫の移動・バイオトイレの移設・工事範囲になる植樹した銀杏、木いちご、くりの木、梅、みかん、琵琶の木の伐採等の作業が発生し作業内容と移設方法等協議。取り掛かりとして、重量物である倉庫の移動の為、移動場所の整地拡張作業を行い、正月休みで少し肥満気味の体が悲鳴を上げている部員もおりました。クラフト部会の活動も、本格的工事着手により制限される予想ですが、部員おのおのクラフト案を持ち寄り、元気に活動したく思うスタートとなりました。



倉庫の整地。ビフォー(左) アフター(右)



立ち退きを余儀無くされた梅・クリ・木いちごなど。